

## ボランティアのみなさん 活躍中



来院される方々に、院内の案内・駐車券の交換など、にこやかに応対している黄色いエプロンのボランティアの方々。お困りのことがありましたら気軽に声をおかけください。140名の会員がさまざまな分野で活動しております。笑顔とやさしい対応が患者様、職員からも喜ばれています。

【理念】キリスト教精神に基づく「病人愛」

【経営方針】この地域にしっかりと根ざし、住民に信頼される病院づくり

社会福祉法人 聖隷福祉事業団  
医療保護施設・地域医療支援病院

総合病院 聖隷三方原病院

SEIREI MIKATAHARA GENERAL HOSPITAL



聖隷三方原病院は、公益財団法人日本医療機能評価機構の定める認定基準を達成しています。

## 感染症・リウマチ内科外来開設のお知らせ

2011年9月より、感染症・リウマチ内科外来を開設いたします。臓器別の一般的な感染症ではなくHIVやツツガムシ、海外渡航後といった特殊感染症の診療と治療、関節リウマチや膠原病領域の診察と治療を行う外来です。受診の際はかかりつけ医の紹介状が必要となります。

診療日：毎週火・金曜日と隔週の水曜日  
9:00～16:00(予約制)

場 所：F号館1階

対象者：特殊感染症、関節リウマチ、膠原病の疑いの方

## がん患者さんのためのおしゃべり会「じゃがいも」

同じ病気を抱えている患者さんといっしょにお話してみませんか？

おしゃべり会は皆さんで体験をわかちあい、支えあう会です。

日 時：9月15日(木) 13:30～14:30

場 所：聖隷三方原病院 第7会議室(管理棟2階)

対 象：がん患者さんとご家族

お問い合わせ：よろず相談地域支援室

浜松がんサポートセンター

TEL：053-439-9047



## 2011年度 フェスタおおぞら

開催日：2011年9月25日(日)

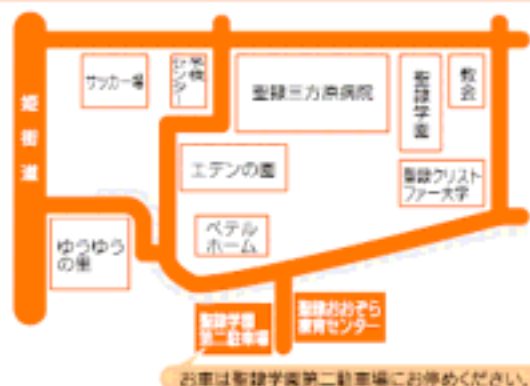
時間：13:00～15:00

場所：聖隷おおぞら療育センター

正面外来駐車場および施設内ホール 他

内容：アフリカンパーカッション

近隣福祉施設によるフリーマーケット、模擬店等  
(本年度は、バザーを実施いたしません。)



## ボランティア説明会開催のお知らせ

日時：9月29日(木) 14:00～15:30

場所：聖隷三方原病院 ホスピス2階 研修室

お申し込み・お問い合わせ

9月22日(木)までに下記担当までご連絡をお願いします。

聖隷三方原病院 ボランティア担当 鈴木

TEL：053-436-1251(代表)(内線6332)

E-mail：mishizu@sis.seirei.or.jp



「みどりの通信」へのご意見、ご感想をお待ちしております。

皆様からお寄せいただいたご意見・ご感想を今後の誌面作りの参考にさせていただきます。

e-mail：mkwebmaster@sis.seirei.or.jp FAX：053-438-2971 みどりの通信編集部

## 栄養課通信 9月

### 料理の名脇役・玉葱

貯蔵性に優れた「玉葱」はご家庭に常備されている野菜の一つでしょう。常温で保存できてとても便利な上に、料理でも旨みや味の深みを出してくれる優秀な食材です。

通年出回っている野菜ですが、旬は春と秋。春の新玉葱は黄色種を早取りしたもので、柔らかく辛味が少ないため、サラダに適しています。秋の玉葱は煮込み料理におすすめて皮につやがあり、全体的に締まっているものを選ぶとよいでしょう。

玉葱を切った時にツンとする香りや辛味は硫黄化合物を含んでいて、血液を固まりにくくするため血栓を予防したり、血圧を下げる働きがあります。また、がん抑制効果も認められています。皮に含まれるフラボノイド色素には抗酸化作用があります。

今回は鉄・ビタミンB12を豊富に含む「あさり」と玉葱を使った簡単レシピをご紹介します。貧血予防には欠かせない成分ですので、女性にはもちろん、高齢の方にもおすすめのメニューです。

### 簡単！旬のレシピ

#### 玉葱とあさりのかき揚げ

4人分

玉葱	300g(中2個)
あさり(むき身)	140g
三つ葉	10g(5本)
卵	1個
小麦粉、揚げ油	各適量
塩、あらびきこしょう	各適量



〈栄養価 1人分〉

エネルギー	268kcal
塩分	11.8g
鉄分	13.8mg
ビタミンB12	22.5μg

〈作り方〉

- ① 玉葱は1cm角に切る。三つ葉は1cm長さに切る。
- ② 卵を溶き冷水を加えたものに、小麦粉を入れて、さっくりとまぜ合わせておく。
- ③ 玉葱・あさに軽く小麦粉をまぶしておく。
- ④ ②と具材を合わせ、さっくりまぜ合わせる。(粘りを出さないように)
- ⑤ 170～180度に熱した揚げ油で揚げる。
- ⑥ 器に盛り、塩・こしょうをまぜて添える。

- ※ 揚げ物の具材は水気を切り、少し冷やしておくとう衣になじみやすくなります。
- ※ お好みで他の野菜を加えたり、切り方で食感を変えたりと色々な味が楽しめます。
- ※ 塩にカレー粉や抹茶を加えてカレー塩・抹茶塩にしてもいいでしょう。

管理栄養士 林 奈央

# 当院の防災活動の取り組みについて

防災委員長  
丹羽 宏  
防災委員会事務局  
土屋 宏治

3月11日に東日本大震災が発生し、大変多くの方々が被災されました。当院では被害はなかったものの多くの方が揺れを感じ、その後の報道等で報じられる被害の大きさに改めて地震の恐ろしさを認識いたしました。

当院では被災地へ「災害派遣医療チーム (DMAT)」や「ドクターヘリ」、「心のケアチーム」を派遣する等の支援を行い、派遣された職員は余震が続くなか専門性を生かした医療救護活動を行いました。



当院は災害拠点病院に指定されていることもあり、訓練や勉強会を通じて日頃から防災活動に取り組んでいます。今回はそれらの取り組みについてご紹介します。

## ①防災総合訓練

### 【日中想定火災訓練】

7月28日にA3病棟より出火したとの設定で火災訓練を実施しました。

A3病棟を中心に隣接す



る病棟と連携し各病棟からの応援も受けながら、火災発生→通報→消火→避難誘導の訓練をしました。またそれと同時に玄関ホールには司令塔となる本部が設けられ、情報の収集や指示を行いました。

### 【地震総合訓練】

今年は9月29日を予定しています。

震度6強の地震が発生し多くの負傷者が当院に運ばれてくるという設定で訓練を実施いたします。

訓練参加者は医師・看護師をはじめとする当院職員はもちろんのこと、周辺関連施設・近隣自治会・学生の方々にも協力いただいております。

実際の大規模災害時にはこれらの負傷者の受け入れでかなりの混乱が予想されます。そこで受け入れ口となる病院玄関で軽症・中等症・重症を判定し(トリアージ)、それぞれの治療場所に搬送して治療を行います。

軽症の方は隣接する聖隷予防検診センターまたは災害用テントを設営しそちらで対応をします。これは病院内の混乱を最小限に抑え、少しでも多くの人命を救うためです。



## ②職員教育

### 【新人防災訓練】

新入職員・異動職員を対象に防災の基本行動・基本知識

を教育します。

災害時の病院職員としての役割と病院の防災体制についての講義や、地震と火災の実技訓練等を行います。

#### 【職場防災係訓練】

各職場から選任される職場防災係を対象に防災の応用教育をします。

災害時の職場防災係としての役割と災害医療・災害マニュアルについての講義や、現場指揮者としての実技訓練等を行います。

#### 【患者搬送勉強会】

担架搬送・2人搬送・背負い搬送を中心とした各種患者搬送法の勉強会です。

#### 【トリアージ勉強会】

災害時、治療の優先度を示すトリアージタグを使用するための勉強会です。優先度の判定は医師が行いますが、記入は主に事務職員や看護師が行います。



#### 【消火栓操作実放水体験】

屋内の消火栓を使用し、実際に操作・放水をする体験をします。

当院では、以上のような訓練を毎年実施し、非常事態における連携を強化しています。訓練中は、院内の皆さまにご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

## 新任医師紹介

小児科 **寺西 顕司**  
(関西医科大 2003年卒)



### 地震総合訓練を行います

9月29日(木) 17:30~18:30に地震総合訓練を行います。地震発生時の広域災害に備えて、的確な初期活動や傷病者の受け入れなどを、病院全体で実施します。



院内放送や患者搬送訓練などでご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 編集後記

9月1日は「防災の日」。1923年(大正12年)に起きた関東大震災を教訓として制定されたものです。東日本大震災が発生し、防災を意識されている方が多いと思いますが、東海地震の発生率は年々上がっているそうです。この機会にもう一度地震に対する備えを確認してみたいかがでしょうか。

#### 今月の花：ヒガンバナ

別名は曼珠沙華(マンジュシャゲ)。ヒガンバナの名は秋の彼岸ごろから開花することに由来します。また、中国原産の植物であり、古い時代に日本に持ち込まれた史前帰化植物の1つであるとされています。

発行責任者：総合病院 聖隷三方原病院 病院長 萩野 和功  
〒433-8558 浜松市北区三方原町 3453  
TEL 053-436-1251 (代) / FAX 053-438-2971  
<http://www.seirei.or.jp/mikatahara/>